

資料提供	
令和7年9月30日	
課名	健康福祉局健康危機管理課 (感染症・疾病管理センター)
担当者	片平
電話(直通)	082-513-3079
(内線)	3079

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

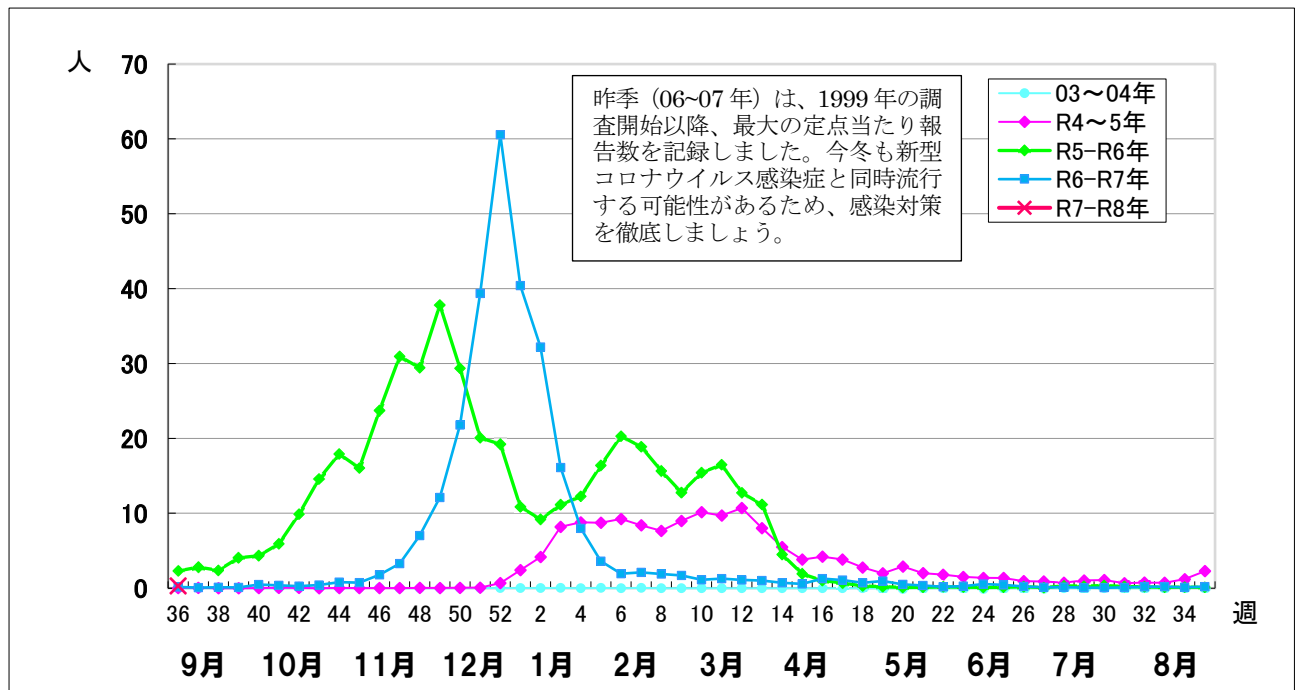
(令和7年9月解析分)

◎ 今月のトピックス

■ 季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時接種可能です！！

- 昨年同様、例年よりも早い9月下旬から、季節性インフルエンザワクチンの供給が開始され、順次接種が始まっています。新型コロナワクチンとの同時接種も可能です。
- 季節性インフルエンザワクチンは、流行のピークに間に合うよう、例年12月中旬までに接種を終えていることが望ましいとされています。
- 国内のインフルエンザについては、昨年は11月から12月下旬にかけて急激に感染拡大し12月末には調査開始以降、最大の定点当たりの報告数を記録しました。今年も、昨年と同様に感染拡大する可能性があることや、新型コロナウイルス感染症と症状の類似した疾患による医療負担を軽減する観点から、積極的なインフルエンザワクチン接種の検討をお願いします。
- インフルエンザワクチンと他のワクチンとの同時接種については、特に医師が必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、重症化や他の人への感染の予防のため、早めに医療機関を受診しましょう。

(季節性) インフルエンザの発生状況 (定点当たりの報告数)



■ 今季の季節性インフルエンザワクチンの供給量

厚生労働省によると、今季の供給量は、近年の平均使用量を超える供給量が見込まれており、ワクチンを適切に使用すれば不足は生じないと考えられています。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年8月分(令和7年8月4日～令和7年8月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	14,515	39.44	-	↗	11	突発性発しん	46	0.21	0.32	↗
2	インフルエンザ ※3	63	0.17	0.22	↗	12	ヘルパンギーナ	177	0.80	1.14	↓
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	2,312	6.28	-	↑	13	流行性耳下腺炎	7	0.03	0.05	
4	RSウイルス感染症	115	0.52	1.99	↑	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	咽頭結膜熱	47	0.21	0.38	↘	15	流行性角結膜炎	69	0.96	0.35	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	300	1.35	1.05	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	940	4.23	3.51	↘	17	無菌性髄膜炎	6	0.08	0.02	
8	水痘	35	0.16	0.07	↗	18	マイコプラズマ肺炎	117	1.46	0.17	↗
9	手足口病	58	0.26	4.43	↓	19	クラミジア肺炎 ※4	1	0.01	0.00	
10	伝染性紅斑	515	2.32	0.01	↗	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年8月分(8月1日～8月31日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 号	記
21	性器クラミジア感染症	66	3.00	3.28	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	65	3.25	3.26	↘	
22	性器ヘルペスウイルス感染症	20	0.91	0.78	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.12		
23	尖圭コンジローマ	16	0.73	0.70	↘	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02		
24	淋菌感染症	29	1.32	1.17	→	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。						

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 新型コロナウイルス感染症(covid-19)
(2.44 → 6.28)
○急減疾患 RSウイルス感染症 (0.23 → 0.52)
手足口病 (0.57 → 0.26)
ヘルパンギーナ (1.82 → 0.80)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内152の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1, 2, 3	1～13	14, 15	21～24	16～20, 25～27	
定点数	36.5	55.5	18	22	20	152

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	31	結核(31)〔西部保健所(2)、西部東保健所(3)、東部保健所(2)、北部保健所(4)、広島市保健所(14)、 呉市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
三類	21	腸管出血性大腸菌感染症(21)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、北部保健所(3)、 広島市保健所(6)、呉市保健所(1)、福山市保健所(8)〕
四類	15	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 デング熱(1)〔東部保健所(1)〕 レジオネラ症(4)〔西部保健所(2)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(7)〔東部保健所(3)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕
五類	593	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(2)〔福山市保健所(2)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔呉市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(26)〔西部保健所(4)、西部東保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(18)、福山市保健所(2)〕 百日咳(561)〔西部保健所(47)、西部東保健所(238)、東部保健所(45)、北部保健所(4)、広島市保健所(133)、 呉市保健所(33)、福山市保健所(61)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年8月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32	25	22	29	26	29	31					221
	小 計	27	32	25	22	29	26	29	31	0	0	0	0	221
三類	コレラ	0	3	0	0	0	0	0	0					3
	細菌性赤痢	0	0	1	0	0	0	0	0					1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	9	19	19	21					81
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	小 計	3	7	5	2	9	19	19	21	0	0	0	0	85
四類	E型肝炎	1	0	1	1	0	0	0	1					4
	A型肝炎	0	1	2	1	2	0	0	1					7
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	つつが虫病	0	0	0	1	0	0	0	0					1
	デング熱	1	1	1	0	0	0	0	1					4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1	0	4	1					6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	18	10	3	7					38
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	レジオネラ症	6	2	5	3	7	17	4	4					48
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	小 計	8	4	9	6	28	27	11	15	0	0	0	0	108
五類全数	ア메ーバ赤痢	0	1	2	0	0	1	0	0					4
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	0	1	4	1	1	0					7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5	3	1	0	1	0	2					17
	急性弛緩性麻痺	0	1	0	0	0	0	1	0					2
	急性脳炎	6	0	2	2	0	1	3	0					14
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	1	0	0	1	2					5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1	4	0	4	4	1	0					20
	後天性免疫不全症候群	0	2	1	1	0	2	0	1					7
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	1	1	1	4	0	0					12
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0					1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	6	7	6	2	4	0					37
	水痘(入院例)	0	1	0	1	1	0	1	0					4
	破傷風	0	0	1	0	1	0	0	0					2
	梅毒	22	17	17	20	27	18	23	26					170
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	1					2
	百日咳	15	11	35	204	352	551	683	561					2,412
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	1	0	0	0					2
	麻しん	0	0	0	0	0	0	2	0					2
	小 計	68	45	73	239	397	585	720	593	0	0	0	0	2,720
合 計		106	88	112	269	463	657	779	660	0	0	0	0	3,134

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニバウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年8月1日～9月19日

資料作成：令和7年9月22日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
207	257	124	97	36

2 四類感染症からの検出状況

診断名	検出ウイルス・リケッチア名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
ダニ類媒介感染症疑い	SFTSウイルス	1	1	血液	R7. 8月	70代	福山市
	日本紅斑熱リケッチア	3	6	血液, 痂皮	R7. 8月～9月	70代～80代	西部, 東部, 東部(福山)
SFTS疑い	日本紅斑熱リケッチア	1	1	血液	R7. 7月	80代	東部
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	6	8	血液, 痂皮	R7. 8月～9月	70代～80代	東部, 呉市, 福山市
	紅斑熱群リケッチア(<i>R. felis</i> 疑い) ※	1	1	痂皮	R7. 8月	70代	東部(福山)

※ 痂皮のみからの検出。紅斑熱群リケッチアの17kDaタンパク遺伝子陽性、gltA遺伝子陰性となり、確定できず。

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況（別紙）

4 五類感染症からの検出状況（急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む）

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(小児)疑い	麻疹ウイルス（ワクチン由来株）＊	1	3	血液, 咽頭, 尿	R7. 8月	1カ月	西部(広島)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	36	36	鼻咽頭, 咽頭	R7. 8月～9月	0～56	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	9	西部東
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	6	西部東
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	8	西部東
インフルエンザ	AH3型インフルエンザウイルス	6	6	咽頭	R7. 9月	1～14	西部東, 東部
	AH3型インフルエンザウイルス +ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	2	2	鼻咽頭	R7. 9月	5	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7. 9月	5	西部東
RSウイルス感染症	RSウイルス A型	1	1	鼻咽頭	R7. 9月	1	西部東
	RSウイルス A型+新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	1	西部東
	RSウイルス A型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	1	西部東

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
ヘルパンギーナ	エンテロウイルスNT	1	1	咽頭	R7. 8月	1	東部
	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 9月	2	東部(福山)
	エンテロウイルスNT+ライノウイルス +新型コロナウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 8月	2	西部東
	エンテロウイルスNT+ライノウイルス +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7. 9月	4	東部(福山)
伝染性紅斑	アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R7. 8月	9	東部
感染性胃腸炎	エンテロウイルスNT	1	1	便	R7. 9月	1	西部東
無菌性髄膜炎	ライノウイルス	1	2	咽頭, 便	R7. 9月	1カ月	東部

＊ MRワクチン接種後12日目の検体から検出された。

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和7年8月1日～令和7年9月19日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	8	ダニ類媒介感染症疑い(8)
西部(広島)	33	麻疹(小児)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(30)
西部(呉)	0	
西部東	83	ダニ類媒介感染症疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(79), 感染性胃腸炎(1)
東部	78	デング熱疑い(3), ダニ類媒介感染症疑い(14), 麻疹(成人)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(37), 新型コロナウイルス感染症(9), 無菌性髄膜炎(3), ヘルパンギーナ(1), 伝染性紅斑(8)
東部(福山)	38	ダニ類媒介感染症疑い(7), 急性呼吸器感染症(ARI)(31)
北部	2	ダニ類媒介感染症疑い(2)
福山市	11	ダニ類媒介感染症疑い(10), 無菌性髄膜炎(1)
呉市	4	ダニ類媒介感染症疑い(4)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス (2025年8月上旬～9月中旬)

報告週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週
	8/4～8/10	8/11～8/17	8/18～8/24	8/25～8/31	9/1～9/7	9/8～9/14
検査患者数	24	13	28	33	32	22
陽性患者数	10	7	15	21	24	18
AH1pdm09型インフルエンザウイルス					1	
AH3型インフルエンザウイルス					4	5
B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)						
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	5	2	8	16	6	7
RSウイルス A型	1	1		2	1	1
RSウイルス B型				1		
パラインフルエンザウイルス1型						
パラインフルエンザウイルス2型	1				1	
パラインフルエンザウイルス3型		1	2	1		
パラインフルエンザウイルス4型	1		2	1	6	
ライノウイルス/エンテロウイルス			1		3	3
ライノウイルス	3	2	3	3	6	2
エンテロウイルスNT	1		2	3	3	
コクサッキーウイルスA4型		1				
メタニューモウイルス						
アデノウイルスNT	1	1		2	1	1
ヒトコロナウイルスHKU1						
ヒトコロナウイルスNL63						
ヒトコロナウイルス229E						
ヒトコロナウイルスOC43					1	

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。